



2018・6・21

第 309 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000 万署名、手だてを尽くして目標達成へ

市民アクションが署名継続確認

九条の会も参加して 3000 万署名の全国的展開に取り組んでいる全国市民アクションは、6 月 12 日、第 52 回実行委員会を開き、「安部が『改憲を断念する』か 3000 万集めきるまで引き続き取り組むことを確認しました。なお署名の第 4 次集約日は 9 月 30 日としました。

取り組み広げ人口の 3 分の 1 超

【長野県長和町／長和町町民アクション】

長和（ながわ）町では、安倍 9 条改憲反対の 3000 万人署名を推進してきた「安倍 9 条改憲 NO！長和町町民アクション」が 6 日に町内で記者会見し、「町民の 3 分の 1 の目標（2000 人）を超えて 2082 人となった」と発表しました。町民人口の 33・5％です。

会見には、呼びかけ人ら 10 人が参加。代表幹事の山田昭二さん（長和町 9 条の会事務局局長）は北朝鮮をめぐる情勢の変化をあげ、署名で対話しても反応が違うと指摘。

「圧力ではなく話し合いによって解決することが大事。憲法 9 条は世界の宝。この精神が戦争を起こさない力」と語り、3000 万

人署名の目標達成の意義を語りました。

町民アクションは、今年 1 月に結成されました。長和町 9 条の会が呼びかけ団体となり、元町長や住職、議員や元議員など多彩な人々 45 人が呼びかけ人になりました。賛同人は 194 人になり、呼びかけ人・賛同人の氏名を掲載したチラシを作成し、3 月に町内全戸に配布しました。

呼びかけ人は、戦争法廃止署名の時よりも広がりました。前は「氏名をチラシに載せて公にするのはちょっと」と言っていた人も、今回は「安倍 9 条改憲は危ない」と賛同した人もいました。

「全国市民アクション」からポスターを取り寄せ、45 人の呼びかけ人に配布。「自宅の郵便受けのそばに張った」など、それぞれが工夫をしました。

チラシ配布以降、署名は急速に広がりました。呼びかけ人・賛同人は隣近所や知りあいをまわって集めました。町民アクションのメンバーが組をつくって訪問しました。

田福光規町議は、チラシの全戸配布が運動の力になったと指摘。「チラシに載った町民の氏名を見れば、『あの人も賛成している

のね』と信頼を得た」と語りました。

町民アクションは今後も「全国が 3000 万人に到達するまで町内で署名を広げたい」としています。

丁寧な手紙に強い反応

【東京都新宿区／東京法律事務所】 東京法律事務所では 8000 筆の集約を目標に、所員みんなで署名活動に取り組んでいます。弁護士、事務員それぞれ自分の繋がりを活かして声掛けを行っています。

① 弁護士は依頼者に直筆の手紙を

自分はこういう風に依頼者に手紙を書いた」というひな形になるものを、所員で共有しています。各弁護士は、それを自分用にアレンジして、依頼者に送っています。

もちろん、先生の中にはオリジナルの手紙を書いている方もいます。ある先生は、手紙の下に自筆で「体調いかがですか？」

「先日はお菓子ご馳走様でした」等一人一人に向けて一言メッセージを書き添えているそうです。署名の返信数を見ても、手紙を書いている先生にはやはり戻ってくる署名数が多いものです。

② 事務員はコツコツと声掛け

事務員も弁護士に負けていません。保育問題で運動しているママ友と署名交換、女子会でほろ酔いの所で署名集め、核兵器廃絶署名とセットにして友人に手紙 etc。

自分の言葉で友人に手紙を書いた事務員の元には、署名用紙の追加をお願いしてくれたり、手紙が良かったよと声を掛けてくれる人もいたそうです。100 筆以上集めた人もいます。

③ 返ってくるお手紙にあつい思い

署名用紙と共にお手紙を入れてくださる方がいます。ある組合の一人は、家族の介護で中々出歩けないような生活状況の中、友人知人に手紙を添え、署名用紙を送ったそうです。そうして集めた署名用紙と共に、私たちに向けてこんな手紙をくれました。

「こんな事でたいした力にはなりません、それでも友人が、“署名をしてもらった人と憲法について話をする機会ができてよかった”と返事をくれましたので、嬉しいことでした。1人1人に3000万分の1になって下さいとお願いしています」。

私たちの元に届く署名の一筆一筆には、私たちの繋がりのまた先の繋がりが、たくさんの思いが詰まっているのだと改めて感じる内容でした。

現在まで集まった署名数は 7200 筆を超えました。目標まであと少し、所員一同頑張ります。（林美乃里 自由法曹団東京支部「支部ニュース」No535）

“元気のもと”は「会つうしん」

【札幌市手稲区/新発寒九条の会】 安倍 9 条改憲反対 3000 万人署名を達成し安倍政権を退場させようと、札幌市手稲区の住宅街（人口 1 万 2000 人）で活動する「新発寒九条の会」は 3000 人の目標を掲げ、昨年 10 月から 2537 人（84・6%）の署名を集めています。

署名推進の“元気のもと”は、毎月発行している「新発寒九条の会つうしん」です。現在 79 号。会員が戦時中の暗い時代を語る「私の戦争体験」には 25 人が登場しました。

2 月の「つうしん」は、長崎の原爆で死んだ弟を背負って直立不動で火葬の順番を

待つ写真「焼き場に立つ少年」を掲載しました。「背中の子はもしかしたら私だったかもしれない」。元公務員の坂上勇さん(74)は語ります。米軍が艦砲射撃や艦載機で道内各地を襲った1945年7月の釧路空襲で、坂上さんの5歳上の兄は戦闘機の機銃掃射をかいくぐり、防空壕に逃げ込みます。

「告発する材料には事欠きません」。元高校教師で、「つうしん」編集責任者の國中拓事務局次長(76)は言います。「データや公文書の改ざん、隠ぺい、セクハラと疑惑と不祥事まみれの安倍政権に政治をこれ以上任せるわけにいかない。子どもたちの教育にとっても、よくありません」

元学校長や元教師、宗教者、医療関係者ら多彩な人々が参加する同会。世話入会で「先進が走り、各人がまず100人をめざそう」と話し合いを重ねました。11人が100人分を突破し、さらに会員の約半数、150人が署名を集めました。

「『教え子を二度と戦場に送らない』との誓いを忘れない」と代表世話人で小学校長だった柴田義行さん(75)。「多くの会員が動いてくれたのは誇りです。9条を変え戦争への道に突き進むのは絶対許さない。断念するまで続ける」と力を込めます。

昨年10月からは、手稲駅自由通路に立つて署名を呼びかけました。1～2人で始めた行動は参加者が増え、94日で延べ380人に。署名は1200人余が寄せられました。

片山后代事務局次長(66)＝元看護師＝は「多くの方が安倍政権を退陣させたいと訴えます。その思いはますます強まってきました。草の根からの運動を盛り上げたい」と意気込みます。

小学生も飛び入りで盛り上げ

【神奈川県厚木市／森の里・九条の会】

森の里・九条の会では、「安倍9条改憲NO3000万署名」を5月17日(日)10時半から1時間、スーパー三和前で行いました。4月に次いで2回目。

今回は「厚木市九条の会ネットワーク」の横断幕と8本の幟を立てて賑やかでした。参加者は当会の8名と隣接する「9条の会・玉川」から2名の10名。

3000万署名が41筆、同時に取り組んだ核兵器廃絶署名が38筆。募金が1名の方から1000円寄せられましたので、次回は募金箱も用意したいと思います。

地元の小学3年生の3人(女子)が飛び入りで参加し、「戦争反対」・「平和が第一」など明るく元気よく叫び声を上げ、盛り上げてくれました。(渡辺政則)

(「あつぎ・九条の会」No140)

「闇の国」から「光の国」へ

【和歌山県/和歌山障害者・患者九条の会】

6月10日、和歌山障害者・患者九条の会は、和歌山市ふれ愛センターで「第12回総会と記念講演会」を開催し、23名が集いました。

総会に続く記念講演は「沖縄に心を寄せ合って～創作活動から見えてきたもの」というテーマで、「和歌山うたごえ九条の会」事務局次長の中北幸次さんと「うたごえオールスターズ」のみなさんをお迎えしました。

沖縄の現状を実際に中北さんが辺野古の座り込みをした体験、沖縄の戦争を生き延びた体験談を交え、そこから生まれた中北

さんの作詩歌、オールスターズの演奏と歌声は聴衆を揺さぶり圧巻でした。

最後に「この国の色は」という歌をみんなで歌いました。1853年の黒船の来航から日本は列強の仲間入りをめざし軍事国家の道を歩み始めました。まさに「闇の色」の国。戦後、日本国憲法に9条が作られ、戦を放棄した平和国家の通を70間歩んできました。それは「光色」。今、この国の色を変える訳にはいきません。絶対に9を変えさせてはならないと、みんなで認識を新たにしました。一日になりました。(事務局の野尻誠さんより) (「九条の会・わかやま」350号)

九条の会結成の便り

【群馬県高崎市／高崎ごまごく9条の会】

高崎ごまごく9条の会の結成総会が5月26日に開催され、会則、年間活動計画、世話人を決め、総会アピールを採択しました。冒頭、発起人の青木延義氏が今日に至る経過と、名称の「五万石」の意味などを紹介し、高崎9条ネット代表長井氏から連帯の挨拶をいただきました。

2部では、世話人劇団(?)がお誘い時によくあるひとコマを切り取った寸劇で会場を沸かせました。ついで記念講演として弁護士の村越芳美先生の講演をお聞きしました。先生は「9条改憲」の狙いが改憲阻止の統一戦線への警戒であると述べ、また軍事力強化の危険性を指摘されました。発議から60日で国民投票になることから普段の活動が非常に大切であると結びました。

(席) (特定秘密保護法の廃止を求める高崎市民の会『あきらめない』第54号)

3000万署名 エピソード集から

【神奈川県／江ノ電沿線九条の会】

▼中年の男性がまっすぐむかってきてすぐに署名しながら、

男性「あべは、だめだよ。年寄りにこんなことをさせちゃあ」

私「ほんとにいやですよね～。ありがとうございます。」

男性はさんざんあべの悪口をいいながら署名をして立ち去った。そのあと、ふと、今の人が言った「年寄り」って私のことだったのね、と思い当った。まだ少し若いつもりだったのに…。

▼「遠くからあなたの声が聞こえたわ。」と言って駆け寄ってきてくれた知人がいた。ふだんのお付き合いのなかでは決して政治的な話題はしないので、まさかこの人が！と私の方がびっくりしていると。さっそく署名をしてくれた。

女性「家族の分は書いてもいいの？」

私「ご了解がえられればかまいませんよ」

女性「そうはいつでも我が家はたった3人でごめんなさいね。でも全員反対よ」と家族の分も書いてくれた。

▼70代の女性が「私も同じ気持ち。でもなかなか行動することができないのよ。えらいわ」と。一人でも行動できればそれは本物の勇気と決意があることだ。多くの方は、同じ考えの人と仲間になってその中で行動する。でもたとえ行動には移せなくても賛同の気持ちを伝えられるだけでもすばらしい。小さな勇気を称えたい。私達も勇気もらった。70代の女性も「私もそちら側でやりたい気分よ」といつてくれた。